

ノリ養殖経過

坂口研一・水野裕輔

目的

三重県の黒ノリ養殖業の安定化を図るために、生産者に対して養殖環境についての情報提供や病害等の対策を指導するなど、きめ細かな対応が要求されている。そこでノリ漁場栄養塩調査、およびプランクトン調査を行いその情報を発信することにより生産者に対して現在の漁場の様子や今後の対応策についての情報を提供する。

方法

9月から3月までのノリ漁期中にノリ漁場栄養塩調査とプランクトン調査を実施した。栄養塩調査は伊勢湾のノリ漁場のうち、主漁場となる18測点の栄養塩とプランクトン発生状況を毎週水曜日に調査し、同日中に調査結果をFAXにより県内の関連漁協に送付した。分析項目は水温、塩分、無機態窒素量、リン酸態リン量、プランクトン数である。これらの詳細については関連報文に報告したので、ここには概要を記載する。

結果

1. 気象要因の特徴

10月から11月にかけての気温は平年に比べてかなり高めで推移し、この傾向は1月まで続いた。1月中旬に平年気温を下回ったが、その後も平年気温より高い目で推移した。降水量は10月が平年に比べてやや多かった以外は変動の幅はあるものの全体的には平年並であった。日照時間は10月下旬から11月中旬にかけて平年に比べてかなり少ない状態が続いた。12月には平年並みになったが、1月に再びかなり低い状態となりその後は平年並みで推移した。

2. 海況要因の特徴

水温は9月から10月初旬にかけてやや高めで推移し10月中旬～下旬にかけてはほぼ平年並みとなった。しかし、11月中旬から12月初旬にかけて再び高めで推移した。1月から2月中旬にかけては平年より1～2℃低めで推移した。

比重については9月中旬から下旬にかけてまとまった降水があったため比重は大きく低下したが10月には回

復し野外採苗は順調に行われた。山間部においての10月下旬からのまとまった雨の影響で伊勢湾内の比重の低下がみられた。その後は降水量の少ない傾向を反映して平年より高めで安定して終漁まで推移した。

栄養塩量については漁期前の9月から11月上旬にかけて降雨の影響もあって各地で高い数値を示した。11月中旬から1月下旬にかけてはやや少ない状態が続き、2月以降はプランクトンの発生により伊勢湾の広い範囲で栄養塩がかなり低い状態で推移した。2月以降の栄養塩がかなり低いレベルで推移したのはプランクトン（珪藻類、主にスケレトネマ）の発生によるもので、また2月の降水量が平年に比べ少なかったこともあり、栄養塩の回復がほとんどみられず、河口漁場を除いて栄養塩量は不足した。

3. ノリ養殖経過

糸状体培養は、順調に行われ胞子囊の形成や成熟は良好であった。

陸上採苗は9月中旬から開始し10月はじめまでおおむね順調に行われた。海上採苗は9月中旬に極端な比重の低下が続き、採苗への影響が心配されたが、9月末までに回復し、10月上旬から開始された海上採苗はおおむね順調に終了した。育苗は10月中はおおむね順調に生育したが11月上旬の河川水の大量流入により芽痛みや芽落ちがみられ、さらにプランクトンの発生による栄養塩不足が加わるなど生育条件が非常に悪く状態のよい網の確保に苦慮した。

冷凍入庫は早いところで10月末から、大部分では11月上旬から中旬が入庫のピークとなり、11月下旬までかかった。育苗期の不調の影響で入庫の遅れが目立った。

秋芽網の本張りは11月中旬から開始し、12月上旬から摘採が本格化した。しかし桑名地区では11月上旬の河川水の大量流入後から続いた育苗不良の回復が遅れ、年内に本格的な摘採はできなかった。秋芽網生産期は栄養塩量は全体的にやや低めから低めで推移した。葉体の色もそれに伴って褪色と回復を繰り返した。この時期水温は高めで推移し、南勢地区ではあかぐされ病が全域にわたり発生した。秋芽網は1月上旬までに4回から5回の摘

採を、一期作では終漁までに最大で10回程度の摘採を行った。

冷凍網の出庫は12月下旬からはじまり、多くの地区では1月中旬から摘採を開始した。2月にはいると各地で著しい色落ちと伸びが悪い状態がみられ生産に大きく影響した。

漁期全体をとおしてみると、秋芽生産期には育苗期後半の出水の影響による芽落ち、異常芽の影響が残り、冷凍網生産期に入つても幾度かのプランクトンの発生とそれに伴う栄養塩の減少、低水温、日照不足が生産に影響

し、生産量が非常に少ない漁期であった。

今漁期の三重県の共販結果は9回汐まで約3億5千万枚の生産にとどまった。しかし価格は有明海の養殖不調もあり漁期をとおして高い水準を維持し最終的に単価11円98銭、生産金額約4億2千万円でほぼ昨年並みの生産金額となった。

関連報文

水産技術センター伊勢湾分場・三重県ノリ養殖研究会・三重県漁業協同組合連合会：平成12年度ノリ情報総集編